

2024年7月8日

「アマチュア無線の魅力向上アイデア」提案書

1. 提案者 ・氏名：萬 新一

・年齢：

・コールサイン：JA1PZD

・連絡先住所：

メール：

2. 提案カテゴリー（AまたはBを選択）

B 若者にアマチュア無線の資格取得を動機づけるアイデア

3. アイディア名：

アマチュア無線を主役としたドラマ/アニメの制作、配信

4. アイディアの概要（200字以内）：

ハローCQ（1964）、私をスキーにつれてって（1987）等ハムを主役、準主役に据えたドラマが若者の耳目を集めハムへの認知や興味を高めた。若者が見向かなかった競馬や競輪、ポート等ギャンブルのイメージを一新したCMやコンテンツもある。これに準えハムを主役としたコンテンツを制作して若者の興味を喚起する。通話媒体のみにとどまらず、ある程度の技術系蘊蓄を盛り込んだ奥行きのある青春ドラマであることを期待。

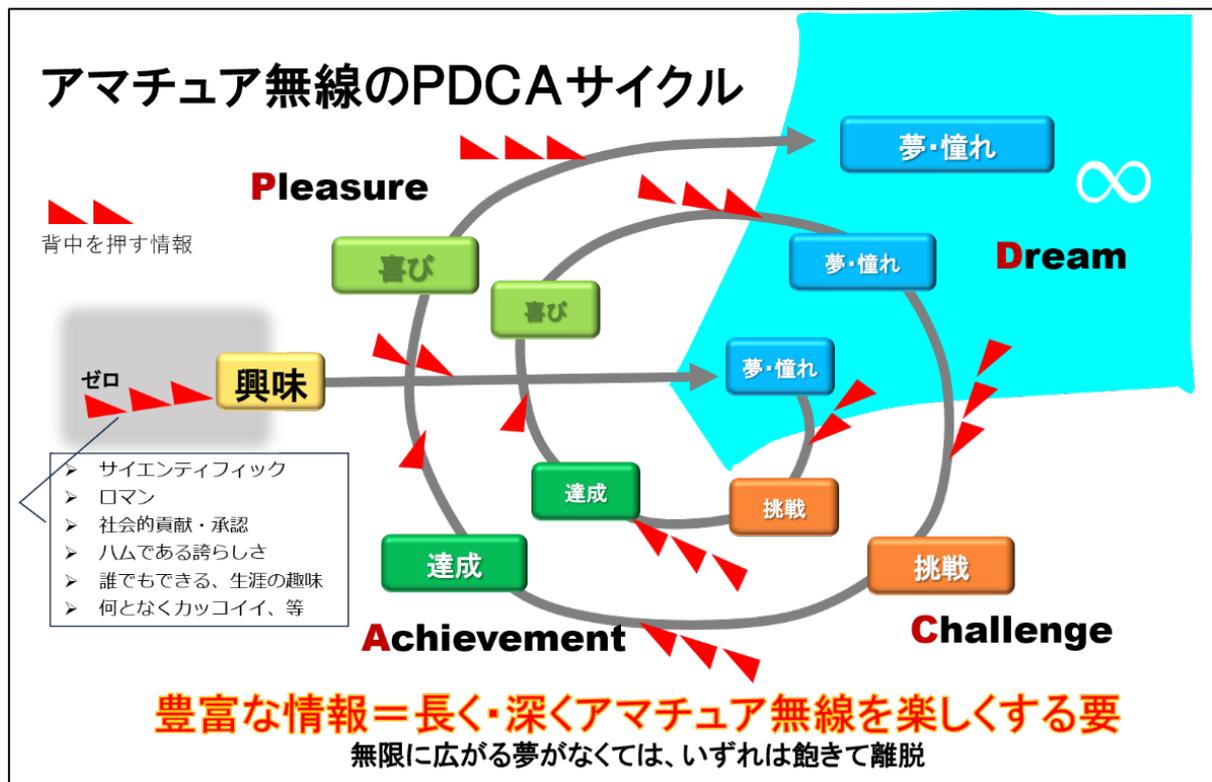
5. 詳細説明（図表を含めて4頁以内）：

例えば、

ハムが趣味の工学系大学3年生の若者（爽やか系の普通の子）が同じ大学の2年後輩の女子大生（アイドル的美少女）とふとしたことで知り合う。若者は中学の時からハムに熱中、知識や技術も豊富に持っていて、これらを縦横に活用して様々なテーマに挑戦している。女子大生は最初あまり興味がなかったが、若者の活動を見聞きしているうちにだんだん興味が湧いてきて自分でもやってみたいと思うようになる。若者に対するあこがれがいつか恋心に高まるが、若者は無線に夢中。若者が彼女の気持ちに気づく日がくるのか？卒業後も無線での会話が続くうちに…

エピソード：

海外局とのQSO、アンテナ造り、無線機や電子機器の製作、電波伝搬を予測しながらコンテスト、アワード、盗聴器探査とFOXハンティング、移動運用、年齢を超えた仲間付き合い、等々々



PDCAサイクルを駆動する情報の現状と課題解決

本提案に関連する事項

A 既に開局している若者や初心者にとっての魅力を一層高めるアイデア
B 若者にアマチュア無線の資格取得を動機づけるアイデア

情報の形態	昔	今	現在の問題・課題	解決の提言
無線雑誌、出版物	多数存在 CQ誌、初歩のラジオ、無線と実験、 モービルハム、QST/QEX等々多数	激減！ ・CQ誌だけが頑張っている (TNX!) ・QST/QEX他ARRL出版物は健在	Push型情報源が不足 ・思いがけない気づきの機会減少 ・ARRLからは上質な刊行物が多数あるが、購読者は限定的	①みんなの広場のハム・ポータルを構築 ・散在するWEB記事を集約して情報を使いやすく ・ポータルへの投稿とWEB検索を併用 ・商業的に可能な範囲で、プロの企画・編集力を開発・改良に発揮していただく ・雑誌とパラレルの存在に ・テーマ別に情報を集約 (テーマキーワードを用意して検索) ・経済的支援を前提としたメーカーの広告も可 (リグ等の選択時に寄与)
インターネット	存在せず	無線関連記事多数あり 昔以上に多数の、温度の高い記事、動画 や解説も交えた分かりやすい記事も多い (Youtube等)	Pull型情報源 ・必要な情報は容易に手に入るが、想定 外の気づきの機会が少ない (検索に引 かからない) ・膨大な情報が散在し、ナビゲーション が煩雑	・有志によるプレゼン資料の公開・流通 A
クラブの勉強会	盛んに行われていた	今でも盛ん 老朽化して盛んでなくなったクラブも多 いが	局所的	②JARL/JARD/CQ出版等の主催による講演会/勉強会 ・対象層の拡大 ・チャレンジテーマの提案 ・年2回程度、WEBINAR併用 ・できれば親睦会付き A
ハム以外の人への視野に入る機会	比較的多数がいて、身近に目にする機会があった 親戚・知人、たまに放送媒体で紹介、 モービル局等 昔はハムが主役のTV番組や映画があっ た	減少 若年層ではアマチュア無線など見たこと も聞いたこともない人が多数 移動運用をしていると訝しがる人すらい る	言葉による説明はイメージを喚起せず伝 わらない ・言葉 (無線機、無線通信、アンテナ、 機器の自作、災害時通信等々) による説 明は、もはや相手にまったく響かない	一般向け露出機会の有効活用 ③共用デモ局による直感的・視覚的なデモ/体験運用 ④鑑賞系ドラマあるいはアニメの制作 ⑤公衆の場での移動運用時に興味を持って来た人に配布 する紹介リーフレットの無償提供 (移動運用テーマ限定 で可、できれば刷物で) B
ハムフェアや展示会等イベント	あり	ある	興味を既に持っている人だけが来場	⑥ハムフェア等の一般向け広報や入場優遇による来場の 勧誘 B
QSO	ラバースタンプも多かったが、共通の興 味ポイントが比較的技術面に集まってい たため、意見交換や学び合いの機会が多 かった	設備の自作をする人が減少し、自分の電 波の到達確認やQSO成立を目的とした ラバースタンプQSOが増加したことで 会話の機会が減少		⑦ QSOの話題ヒント集の発刊 1stQSOでの豊かな会話の発展 を支援 例) JCC#別の気候・地勢、観光名所、特産品、グル メ、地酒など、会話の糸口となる話題を提供 A

6. 参考情報（任意）

- ・ 参考資料：資料名（PDF ファイルを添付）
- ・ Web 情報：タイトル、URL